

武蔵村山病院 後期臨床研修プログラム

2016年度



社会医療法人財団大和会
武蔵村山病院

総合診療医

名称：大和会武蔵村山病院・西伊豆病院 「総合診療医・家庭医」養成プログラム

*本プログラムは、日本プライマリ・ケア連合学会から認定されている家庭医療後期研修プログラムである。

研修施設： 大和会 武蔵村山病院、東大和病院、大和会在宅サポートセンター
健育会 西伊豆病院

プログラム責任者： 鹿取正道（武蔵村山病院）

指導医(日本 PC 学会認定指導医)

鹿取正道（武蔵村山病院）、仲田和正（西伊豆病院）

吉田英人（西伊豆病院）

指導医： 津田昌宏（武蔵村山病院）、荒畑亜呼（武蔵村山病院）

福井海樹（武蔵村山病院）、小池千裕（武蔵村山病院）

吉野廉子（武蔵村山病院）、高田大（武蔵村山病院）

桑田雅雄（東大和病院）、木庭雄至（東大和病院）

森清（大和会在宅サポートセンター）

1. プログラム概要

A. プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特長

大和会 武蔵村山病院が位置する北多摩西部二次保健医療圏は、大医療圏東京にありながら島部を除くと都内で 10 万人あたりの病院数、医師数が最も少ない医療圏である。とくに武蔵村山市、東大和市は人口 15 万人を抱えながら、200 床以上の病院は、当院と大和会関連病院の東大和病院と他に 1 病院（村山医療センター；整形外科にはほぼ特化した国立病院）の 3 病院であり、当院は地域中核病院の役割を担っている。当院での内科では、各常勤医は sub-specialty を有するが基本的に総合内科として、common disease を中心に外来・入院診療をおこなっている。入院患者年間 1000 人程度の内訳は、神経系・呼吸器系・循環器系・消化器系・腎臓系・内分泌代謝系・血液内科系・膠原病系などであり、まんべんなく疾患を網羅している。総合診療医を目指す研修先としては理想的な環境にある。小児科・産婦人科も地域の要請に応える形で、6 人の小児科医、4 人の常勤産婦人科医が診療にあたる。東大和病院は、循環器センター・消化器センター・SCU を中心とした脳卒中センター・呼吸器センターを擁し、臓器別の高度医療を展開している。さらに大和会は在宅サポートセンターを設立されており、武蔵村山市、東大和市内を中心に村山大和診療所の訪問診療や、介護関連施設（居宅介護、包括支援センター、老人保健施設など）での介護などを通じて、「ゆりかごから墓場まで」の医療・介護を一貫して支えている。大和会中心に研修することで 20 万人弱の医療圏を俯瞰することも容易であり、総合診療医の研修としては重要な点と考えている。

西伊豆病院は、25 年にわたり仲田和正院長を中心に静岡県西伊豆地域のへき地医療を支えてきた日本有数の病院である。有数なる所以は、救急医療から在宅医療までの一貫した質の高い地域医療を提供し続けていること、定期的なカンファレンスの継続（インターネットを通じて全国各地の病院とカンファレンスにて交流している）、および長年にわたり地域医療研修医を受入れている実績にある。

以上本プログラムの特長は、2つの異なる地域背景をもつ医療圏での総合診療医研修にある。

B. プログラムの理念、全体的な研修目標

【理念】中規模医療圏とへき地医療圏の2つの異なる医療圏での医療・介護領域の総合的な研修を通して、質の高い総合診療医の育成することである。

【研修目標】

1. 自ら考えて診療すること
2. アナムネや理学所見、基本検査などを重視し、コスト意識をもった医療を展開すること
3. チーム医療を重視し、チームの中での自分の役割を踏まえて行動すること
4. 医療を展開するにあたり質の高い論文や資料を参考にしながら、実臨床にて活用すること

C. 各ローテーション先で学べる内容や特色

【武蔵村山病院】：総合診療専門研修Ⅱ、小児科、その他の領域別研修

内科：総合内科領域の研修では、外来・入院を問わず神経系・呼吸器系・循環器系・消化器系・腎臓系・内分泌代謝系・血液内科系・膠原病系などの Common disease を中心についてまんべんなく経験ができる。

小児科：常勤医が6名と多く、小児科的な Common disease を中心についてまんべんなく経験ができる。24時間救急も展開しているため、1次から2次救急までの症例を経験できる。

【西伊豆病院】：総合診療専門研修Ⅰ

救急医療から在宅医療までの一貫した質の高い地域医療を、指導経験豊富なスタッフのもとで研修できる。

【東大和病院】：内科研修、救急研修、その他の領域別研修

内科：ICU/CCU を中心とした循環器センター・SCU を中心とした脳卒中センター・消化器センター・呼吸器センターでの高次医療を、疾患別で外科・内科合同チームによる集中治療をチームの一員として集中的に経験できる。

救急科：年間6000台の救急搬送実績がある救急医療の現場にて研修できる。

【在宅サポートセンター】：その他の領域別研修

村山大和診療所の訪問診療や介護関連施設（居宅介護、包括支援センター、老人保健施設など）などの研修で、在宅医療・訪問看護など医療や、介護領域の仕事を経験し理解ができる。

D. 指導体制に関する特長

【武蔵村山病院】日本プライマリケア連合学会指導医や総合内科専門医などの指導医から、朝晩の患者個人のチャートカンファレンスを通じて、実診療を学んでいく。また初期研修医と協働することで、自ら教育をおこなう立場にもなる。毎週のカンファレンスでは EBM の実践なども学んでいく。

【西伊豆病院】日本プライマリケア連合学会指導医により、長年培われた研修方法で指導されることになる。インターネットでの TV 会議を通じた全国の病院とのカンファレンスや抄読会などでの指導も有効である。

【東大和病院】循環器・神経科・消化器科・呼吸器科などの各専門学会の指導医からの指導が得られる。

【在宅サポートセンター】在宅医療を通じて指導を受けられる。

- E. 医療関係職種、保健・福祉関係職種、地域の住民、医療機関の利用者などの協力を得る方法
- ・武蔵村山病院、西伊豆病院内には、医療ソーシャルワーカー、社会福祉士などが常勤している。また大和会には武蔵村山市、東大和市から各々に委託された包括支援センターがあり、協力体制は容易である。
 - ・地域住民、医療機関の利用者などの協力を得ることは、現在大和会の各施設、西伊豆病院も研修医の受入を従来からおこなっており特別あたらしい準備は必要ないと考えている。

2. プログラム全体の構成（月単位の換算による）

後期研修医プログラムは3年（36ヶ月）で構成される。

総合診療 専門研修	総合診療専門研修Ⅰ (6) カ月		総合診療専門研修Ⅱ (12) カ月	
	内科 (6) カ月	小児科 (3) カ月	救急科 (3) カ月	その他
領域別 研修				

3. モデルとなるローテーション例

- 1年目：武蔵村山病院総合内科研修（12ヶ月）
- 2年目：東大和病院内科研修（6ヶ月）、東大和病院救急研修（3ヶ月）
武蔵村山病院小児科研修（3ヶ月）
- 3年目：西伊豆病院総合内科研修（6ヶ月）、村山大和診療所在宅医療研修（1ヶ月）
その他の領域研修：（5ヶ月）



4. プログラム定員

各年度 2名

5. 各診療研修の実際

B. 5-1. 総合診療専門研修 I				
研修施設名 1	健育会 西伊豆病院	診療科名 (内科)		
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院	施設が病院のとき → 病院病床数 (78) 床 診療科病床数 (50) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間		(6) カ月		
指導医氏名 1	仲田和正	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	(第 2013-551 号)
指導医氏名 2	吉田英人	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	(第 2013-1062 号)
要件				
ケアの内容				
<ul style="list-style-type: none"> ■ 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど ■ 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し在宅緩和ケアにも従事 ■ 地域包括ケア：学校医、地域保健活動などに参加 				
施設要件				
<ul style="list-style-type: none"> ■ 患者層：研修医の経験する症例は、学童期以下が 5%以上、後期高齢者が 10%以上である。 □ 上記の要件を満たさないが、他の方法で研修を補完している。(※小児科を有する病院で実施するプログラムは基本的に記載要) ■ アクセスの担保：24 時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている。 具体的な体制と方略(静岡県伊豆地方の第二次救急医療機関であり 24 時間体制で救急診療をおこなっている) ■ 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する。 具体的な体制と方略 (へき地医療拠点病院であり、継続的なケアを行っている) ■ 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当。 具体的な体制と方略 (へき地医療拠点病院であり、包括的なケアを行っている) ■ 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する。 具体的な体制と方略 (高次医療機関として順天堂大学静岡病院と協力体制あり、地域の介護・福祉機関とも連携あり) ■ 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する。 具体的な状況 (へき地医療拠点病院であり、家族志向型ケアを常時展開している) ■ 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する。 具体的な内容と方法 (静岡県賀茂郡西伊豆町と連携し地域住民の健康管理を行っている) ■ 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している。 それぞれの概ねの頻度 (全体でつきあたり約 10 回、安定している患者は月 1 回訪問) 				

5-2. 総合診療専門研修Ⅱ			
研修施設名 1	大和会 武蔵村山病院	診療科名 (内科)	
施設情報	病院病床数 (300) 床	診療科病床数 (50) 床	
総合診療専門研修Ⅱにおける 研修期間		(12) カ月	
指導医氏名 1	鹿取正道	■常勤 □非常勤	指導医認定番号 (第 2014-0802 号)
要件			
ケアの内容			
<ul style="list-style-type: none"> ■病棟診療：病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 ■外来診療：臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する。 			
施設要件			
<ul style="list-style-type: none"> ■一般病床を有する ■救急医療を提供している 			
病棟診療 ：以下の全てを行っていること			
<ul style="list-style-type: none"> ■高齢者（特に虚弱）ケア 具体的な体制と方略（入院患者の 75%程度、外来患者の 60%程度が 65 歳以上である。施設からの紹介も多く全般的に介護を要する虚弱者の診療機会はきわめて多い） ■複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略（入院患者の多くは複数の健康問題を抱える患者がほとんどである。当科では主治医機能を担当しながら、各 sub-specialty を有する医師と相談しながら包括的に診療している） ■必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略（神経疾患、腎臓疾患、消化器疾患、泌尿器科疾患などについては院内の各専門医と連携する。高度急性期治療（脳血管障害、循環器疾患など）については、大和会の関連病院である東大和病院の SCU、CCU、ICU などと連携し、転院搬送している） ■心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略（すべての一般内科入院患者については、週 1 回（土）に医師、病棟看護師、退院調整看護師、医療ソーシャルワーカー、薬剤師を含むカンファレンスにて、症例検討されている。心理・社会・倫理的複雑例についての検討もこの場でなされる。） ■癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略（癌患者についての緩和ケアについては、内科病棟とは別に緩和ケアチーム（緩和ケア医師および緩和ケア認定看護師で構成される）を有する療養病棟があり、院内で連携しながら診療を行っている。非癌患者(COPD 末期、認知症末期、脳血管障害、神経疾患)の緩和ケアにおいても、急性期病棟からの転棟など療養病棟スタッフと連携しながら患者の診療を行っている） ■退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略（退院調整チーム（退院調整看護師と医療ソーシャルワーカーで構成）が中心に入院初期から退院支援をおこなう、病棟医師は連携しながら退院支援をしている。別に院内に居宅介護部門・訪問看護部門もあり地域連携は日常におこなっている。） ■在宅患者の入院時対応 具体的な体制（大和会在宅サポートセンター内の村山大和診療所の在宅医療専門医師と連携しながら適時入院応需している。または地域開業医の在宅医療や訪問看護ステーションなどとも連携し入院対応が必要なら応需している） 			

<p>外来診療：以下の診療全てを行っていること</p> <p>■救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略（当院では一般内科外来診療を月から土までの毎日をおこなっているが、その 10%程度は初診診療である。外来担当内科医がその診療にあたる。さらに時間帯ごとに別の担当医師による 24 時間対応救急外来診療もあり、救急車搬送患者対応やそのほかの救急外来受診患者に対応している。）</p> <p>■臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略（当院での毎日の一般内科外来では週 500 症例の臓器を選ばない一般診療をおこなっており、幅広い疾患の患者をあまねく診療している。その 10%程度は初診診療である。このほかに、呼吸器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科などの各専門外来があり、状況に応じてコンサルトできる体制にある）</p> <p>■よくある症候と疾患 具体的な体制と方略（一般内科外来診療では、いわゆる各専門内科的な common disease をあまねく診療している。一般的な徴候の症例も数多い）</p> <p>■臨床推論・EBM 具体的な体制と方略（外来患者に関する症例検討を毎週 1 回行い、臨床推論や EBM の観点から検討している。）</p> <p>■複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略（一般内科外来診療では、複数の健康問題について包括的にケアを常時行い、呼吸器内科、循環器内科、神経内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科などの各専門外来連携しながら診療している。）</p> <p>■診断困難患者への対応 具体的な体制と方略（不明熱や原因不明の体重減少例など診断が困難な患者の精査を外来や病棟で月 2～3 症例程度診療している。）</p>
--

5-3. 領域別研修：内科			
研修施設名 1	大和会 東大和病院	病院病床数 (284) 床	診療科名 (内科)
領域別研修 (内科) における研修期間		(6) カ月	
指導医氏名 1	桑田雅雄	臨床経験年数 (27) 年	
有する認定医・専門医資格	日本内科学会認定医、日本循環器学会認定 循環器専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医・専門医		
要件			
ケアの内容			
■病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する。			
施設要件			
■医師法第 16 条の 2 および関係省令で定める基幹型または協力型臨床研修病院である。			
■内科病床数が 50 床以上ある。 (150) 床			
■内科常勤医が 5 名以上いる。 (10) 名			
■後期研修プログラムの認定に関する細則第 9 条 (5) に定める指導医が病院全体として 3 名以上いる。(5) 名			

5-4. 領域別研修：小児科			
研修施設名 1	大和会 武蔵村山病院	病院病床数 (300) 床	診療科名 (小児科)
領域別研修 (小児科) における研修期間		(3) カ月	
指導医氏名 1	高田大	有する専門医資格 (日本小児科学会認定専門医)	
要件			
ケアの内容			
<ul style="list-style-type: none"> ■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的に遭遇する症候や疾患の対応を経験する。 ■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1次救急を中心に経験する。 ■病棟診療：日常的に遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ。 			
施設要件			
<ul style="list-style-type: none"> ■小児領域における基本能力 (診断学、治療学、手技等) が修得できる。 ■小児科常勤医がいる。 (6) 名 			

5-5. 領域別研修：救急科			
研修施設名 1	大和会 東大和病院	病院病床数 (284) 床	年間救急搬送件数 (6000) 件
指導医氏名 1	木庭雄至	有する専門医資格 (日本救急医学学会 認定医・専門医・指導医)	専従する部署 (救急センター)
ブロック研修			
<ul style="list-style-type: none"> ■ブロック研修 →領域別研修 (救急科) における研修期間 (3) カ月 □兼任研修 ※兼任研修の場合、「5.概要」の「H. プログラムの全体構成」の記載との整合性を保つこと 			
要件			
ケアの内容			
<ul style="list-style-type: none"> ■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する。 			
施設要件 (下記のいずれかを満たす)			
<ul style="list-style-type: none"> □救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設 ■救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関 (救急搬送件数が年に 1000 件以上) 			

5-6. 領域別研修：その他						
研修領域	必修・ 選択別	ブロック・ 兼任の別	研修日数/週 (兼任の場合)	研修期間	研修施設名と 診療科名	指導医氏名
一般外科	■必修 □選択	■ブロック □兼任	(5) 日/週	(1) カ月	武蔵村山病院外科	渋谷慈郎
精神科/ 心療内科	□必修 ■選択	□ブロック ■兼任	(1) 日/週	(3) カ月	武蔵村山病院精神科	金子宏明
産科婦人科	■必修 □選択	■ブロック □兼任	(5) 日/週	(1) カ月	武蔵村山病院 産婦人科	稲富滋
泌尿器科	■必修 □選択	■ブロック □兼任	(5) 日/週	(1) カ月	武蔵村山病院 泌尿器科	大川麻子
眼科	■必修 □選択	■ブロック □兼任	(5) 日/週	(1) カ月	武蔵村山病院眼科	田中伸茂
耳鼻咽喉科	□必修 ■選択	□ブロック ■兼任	(1) 日/週	() カ月	武蔵村山病院 耳鼻咽喉科	長井恵一
放射線科 (診断・撮影)	□必修 ■選択	□ブロック ■兼任	(1) 日/週	(3) カ月	武蔵村山病院 放射線科	原澤有美
臨床検査・ 生理検査	□必修 ■選択	□ブロック ■兼任	(1) 日/週	(3) カ月	武蔵村山病院 臨床検査・生理機能 検査	高橋秀宗
リハビリ テーション	■必修 □選択	■ブロック □兼任	(5) 日/週	(1) カ月	武蔵村山病院 リハビリテーション 科	鈴川活水
その他 (在宅診療)	■必修 □選択	■ブロック □兼任	(5) 日/週	(1) カ月	村山大和診療所	森清
その他 (小児救急)	■必修 □選択	□ブロック ■兼任	(1) 日/週	(3) カ月	武蔵村山病院小児科	高田大

6. 研修修了

- ①日本プライマリ・ケア連合学会認定医（専門医）試験資格
- ②日本内科学会教育関連施設研修